

令和5年度 第3回安曇野市スポーツ推進審議会 会議概要

- 1 委員会名 令和5年度 第3回安曇野市スポーツ推進審議会
- 2 日 時 令和5年11月21日(火) 午前10時00分から11時40分まで
- 3 会 場 安曇野市役所本庁舎4階 大会議室(東)
- 4 出席者 赤羽委員、加々美委員、松田委員、布山委員、白井委員、小林委員、
唐澤委員、御厨委員、倉田委員、古幡委員、
※出席委員総数：10人
- 5 欠席者 猿田委員、本間委員、丸山委員、藤岡委員
- 6 市側出席者 太月課長、小平係長、山田
- 7 公開・非公開の別 公開
- 8 傍聴人 0人 記者 0人

協 議 事 項 等

会議の概要

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 協議事項
(1) 第2次安曇野市スポーツ推進計画の中間見直しについて
- 4 その他
- 5 閉会

3 協議事項

(1) 第2次安曇野市スポーツ推進計画の中間見直しについて

第1章 (P1 から P3)

赤字が修正した部分になるが、主に社会情勢の変化についての記述、上位計画との整合性を図ったための修正となる。また、従来計画書にあった「上位計画の概要」については、現状についての記載を集約させるため、第2章へ移動させた。

【質疑・応答】

無し

第2章 (P4 から P9)

従来計画書にあったアンケート結果は、巻末へ移動し、資料扱いとした。それに代わり、コロナ、共生社会などの現状の記載と、上位計画にかかわる部分の記載を行い、そのタイトルも「市民スポーツとのかかわりの現状」から「本市のスポーツを取り巻く環境」へと修正した。

【質疑・応答】

無し

第3章 (P10 から P11)

従来計画書にはなかった「みる」「ささえる」を加筆した。第3期スポーツ基本計画及び第3次長野県スポーツ推進計画との整合性を図った。

【質疑・応答】

(審議委員) 地域部活動という地域を取り巻く課題が増えてきた。するスポーツを支えるという体制のところ、地域のスポーツを取り巻く環境が違ってきたので、そのような言葉を入れる必要があると思う。非常に重要なポイントの一つと思うが、いかがか。

(事務局) 地域部活を含めた地域とのスポーツとの取組みについては、後の基本施策で触れているため、あえて明言化しないという考えである。

(審議委員) 了解した。

第4章 (P12 から P26)

[現状の主な取り組みと課題]については、実績に基づいた修正をしている。

[施策の展開]については、前回までに審議いただいたことを反映し、修正をしている。また、目標指数についても実績に沿って修正をした。(基本施策①～⑩を順に確認・質疑・応答)

28 ページの基本施策⑫については削除した。東京オリンピックが終了したためである。また国民スポーツ大会については基本施策⑪に集約した。

基本施策① 子どものスポーツの推進

【質疑・応答】

無し

基本施策② 「気軽さ」で初心者参加を促すスポーツ推進

【質疑・応答】

(審議委員) P15の「軽スポーツ」という言葉について、気軽にできるスポーツという意味で使用されている。安曇野市はスポーツを支えていこう、推進していこうという中で、軽スポーツという言葉に違和感を覚える。何が軽スポーツで、何が軽スポーツでないか。このままの表現でよいのか。皆さんはいかがか。

(事務局) 前回この部分で、軽スポーツも競技スポーツは区別がないという話をした。ここは、軽スポーツも競技スポーツもなく、同じくくりでということで、「◇気軽にスポーツ体験ができる機会の充実」というカテゴリを作った。目標指標の文言を、「軽スポーツ及び競技スポーツ初体験会の教室の参加者数」から「スポーツ体験会と教室の参加者数」に変更したい。

(審議委員) スポーツ少年団の単位団の種目についても、多様化が進んでいる。単純な勝敗だけでなく活動、広い意味でのスポーツというとらえ方となっている。こういう冊子にした際、軽スポーツという言葉は、わかりやすい表現ではあると思う。多様化しているところをまとめなければいけないところが課題であると思う。

(審議委員) 軽スポーツはこのページしかない。表3の実施概要を見ると、ニュースポーツや障がい者スポーツなどと記載があり、目標指標でいきなり軽スポーツという単語が出てくるのはどうかと思う。最近軽スポーツともあまり言わないので、事務局案の「スポーツ」でまとめてもよいと思う。

(会長) 事務局から提案のあった文言でまとめてよいか。

(全員) 異議なし。

基本施策③ ライフステージとニーズに応える「スポーツの場」づくり

【質疑・応答】

無し

基本施策④ 効果的なスポーツ情報サービス

【質疑・応答】

無し

基本施策⑤ 公共スポーツ施設の快適性・利便性の改善

【質疑・応答】

無し

基本施策⑥ 地域で支えるスポーツ推進体制の基盤づくり

【質疑・応答】

(審議委員) 地域で支えるスポーツ推進の中に、色々な意味で調整役や公民館の事業等タイアップしているの、基本施策⑥の中にスポーツ推進委員の活動を追加してもよいと思うがいかがか。

(審議委員) 基本施策⑥内の「③次世代の継承」という部分で、スポーツを取り巻く環境が変わる中で、スポーツ推進委員にも協力してもらわなければならないという要素があると思う。スポーツ推進委員の規則の中でも、学校や公民館等のスポーツ行事に協力をすることと明記されているので、基本施策⑧ではなく、基本施策⑥の中に入れて方がよいと思う。

(事務局) 従来計画では、基本施策⑥内の「②指導者相互の交流」のところスポーツ推進委員について触れていた。そこが今回なくなってしまったので、仮に推進委員について加えたとしたら、「②指導者相互の交流」で良いか。

(審議委員) 〈審議員〉さんの言った中で言うと、「③次世代への継承」でスポーツ推進委員の役割を入れていただけると、教育委員会とするとありがたい。また、「③次世代への継承」の一番下の行の文章で、「しくみづくり」の前に、「意識変化」が必要と思う。

(事務局) スポーツ推進委員は「③次世代の継承」に入れたい。実績についてもここに入れたい。現状の主な取り組みについてもご教示いただければこちらで文章が作りやすいのでお願いしたい。

(全員) 異議なし

(事務局) 補足で、活動が多岐にわたる場合、どこか1つに入れなくてよい。ただ活動内容と、施策の展開はリンクしないといけないのでお願いしたい。

(審議委員) まとめると、基本施策⑧(総合型スポーツクラブの～)に「スポーツ推進委員」が出ているが、基本施策⑥で入れた方が適切と考えている。

(事務局) P23「スポーツ推進委員の～」をP19「③次世代の継承」へ、「◇既存のスポーツ推進体制の～」をP20の【施策展開】へ移動でよろしいか。

(全員) 異議なし

基本施策⑦ 健康増進に関わる多様な主体の連携強化

【質疑・応答】

無し

基本施策⑧ 総合型地域スポーツクラブの運営支援と新たな体制の具体化

【質疑・応答】

- (審議委員) 1点誤りがあり、「ファミリースポーツレストラン」を「ファミリースポーツカフェ」に変更いただきたい。施策の展開で、地域部活の受け皿として、総合型地域スポーツクラブも関与しているので、継続してやってもらいたいという文言を追加してほしい。
- また、先ほどの協議で「◇既存のスポーツ～」が移動するため、「新しい地域スポーツ環境の整備」など、地域部活動の支援を進めていく等の文言を入れてほしい。
- (事務局) 了解した。そのように一文加える。
- (審議委員) 部活動の地域移行は、今は休日のみだが、将来的には休日だけでなく全面ということによいか。スポーツ少年団も含めて、地域で取り組む誰もがスポーツをできる環境を作ろうという理想も入れてもよいのでは。
- (事務局) 基本施策⑧の[現状の主な～]及び[施策の展開]に、地域部活についての言及を加えるということによいか。
- (審議委員) [現状の主な～]のところに地域スポーツクラブへ部活動を移行した際の主体組織として位置づいていると記載いただき、[施策の展開]の方に見通しを記載するなら日常的に地域の人たちが運営できるような指導者確保・仕組みづくりを担っていくことだと思う。
- (事務局) 了解した。そのように加える。

基本施策⑨ 障がい者スポーツを広める場と体制づくり

【質疑・応答】

- (審議委員) 障がい者スポーツを支えていく中で、スロープやお手洗いなど、施設のことについても言及してほしい。
- (審議委員) バリアフリーなど、施設面に関してはまだこれからの部分が多い。スペシャルオリンピックス、パラリンピック、デフリンピック等、さまざまな取り組みもあるので、このようなことも含めて入れてほしい。
- (事務局) 障がい者スポーツの環境整備については、基本施策⑤で記載しているので、こちらでよいという認識。スペシャルオリンピックスは令和6年から令和9年までに開催されるのか。
- (審議委員) 障がい者スポーツは幅広い範囲がある。すべてを包括していればよいが。
- (事務局) 障がい者の方が大きな大会へ参加することを支援する内容の施策の展開を入れるという認識でよいか。
- (審議委員) 大会などではなく、誰もがいつでも施設を使えるということも目指すにあたって、施設の改良がこのページになかったため入れた方がよいと考えた。

(審議委員) 施設の関係は基本施策⑤で記載があるということは理解したが、安曇野市はすべての人がスポーツを楽しめる環境という認識を持ってもらえるように、基本施策⑤[施策の展開]内の「・改修等にあたっては～」において、「より多くの市民が」を「すべての市民が」などに変えてほしい。適切な表現はあるか。

(事務局) 障がいあるなし、そういったことを気にせずに誰もがということでもよろしいか。

(審議委員) はい。

(事務局) 了解した。そのような文言に変更する。

基本施策⑩ アウトドア・スポーツを核としたまちづくり

【質疑・応答】

(審議委員) マウンテンバイク拠点は啼鳥山荘で十分なのか(宿泊等できるのか)。もう少しコースの整備とともに、施設の整備を検討すべきだったのではないか。

(事務局) もともと宿泊施設だったため、泊まることはできる。しかし、市としては、近くに同じような宿泊施設やキャンプ場があるため、迷っている状況。以前は小学校等の行事で使用していたが、今年度は、衛生面や維持管理の問題で宿泊は受けていない。

(審議委員) 市民としてはマウンテンバイクコースを整備したときに、あわせて啼鳥山荘が拠点となるような施設に改修しなかったかが疑問であった。そこも含めてやってほしかったという願望。

基本施策⑪ 「する」「みる」「ささえる」スポーツを通じた多様な交流の拡大

【質疑・応答】

(審議委員) ANCアリーナができて1年経過したが、利用者がどんな感想をもって利用しているか。使用している市民の方からどんな声が届いているか聴きたい。

(審議委員) 松本の総合体育館が改修で使えず、人が流れており利用者が増えている。お褒めの言葉は多いが、一番多いのは駐車場が小さいということ。最大1500人は収容できるということだが、駐車場は221台分のみである。大きい大会ができず、近くの旧南社会体育館駐車場も利用している状況である。また、大きな大会を開催した際に、南部公園やトレーニングルーム利用者から、駐車場や道路混雑などについて苦情も寄せられている。将来的には国スポもあるため、駐車場の整備をしてほしい。

その他、バスケットボール、ヘキサスロンなど22ものスクールを開催しており市民の方からは非常に好評である。

(審議委員) 利用者のへの支障がないように検討し、進めてほしい。

第5章 (P27)

令和4年度実績の記載と、それに沿った目標値・単位の修正を行った。

【質疑・応答】

(審議委員) 表6で、「成人の週1回以上のスポーツ実施率(%)」で、前回は32.6%と目標には届かなかった。5年後計画が終わった段階で目標に近づいてもらえればありがたいが、数値を把握するためのアンケートはあるか。

(事務局) 第3次計画を立てるときに大規模アンケートを取る予定である。

4 その他

・今後の日程について、12月の議会報告を経て12月下旬からパブリックコメントを1カ月実施する予定。意見集約した後、2月に第4回審議会を予定している。その後、3月議会の報告を経て、4月公表という流れになる。

以上